



日台稲門会

NEWS LETTER 第19号

平成23年(2011年)中華民國100年

初秋号

発行者 日台稲門会事務局

編集人 齋藤

東日本大震災で被災され、現在も過酷な環境の中で復興に立ち向かっていらっしゃる幾多の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。さて茲に、日台稲門会ニュースレター第19号をお届けします。

◇ 日台稲門会・台湾校友会NEWS ◇

第15回定期総会、講演会、第12回日台交流の集いを開催しました

日時：平成23年5月21日(土)

場所：総会 15:00～、講演会 16:00～ 大隈会館(20号館)301～3号室

日台交流の集い 18:00～ 大隈タワー(26号館)15階「西北の風」

今次総会・講演会は、今年も薫風わたる大隈庭園を臨む母校、大隈会館で開催されました。

第1部の定期総会では6つの議案が上程され、出席会員の審議を経て全て原案通り承認されました。新幹事として承認された川村淳一氏、高橋徹氏、陳惠珍氏、萩原伸一氏の4名がそれぞれ議場に紹介されて抱負を語られ、また井上浩氏、西本誠氏、川村順一氏の3名の幹事が都合により退任される旨が案内されました。

総会終了後の第2部では、元・外務省欧亜局長東郷和彦氏(現・京都産業大学法学部教授、世界問題研究所長)による、「3.11から日本の復興へ——北方領土交渉の壊滅から再興へ」と題する講演があり、海外から見えなくなってしまった日本、3.11からの復興の道筋、氏が長年携ってこられた北方領土返還交渉の蹉跎、と多岐にわたるテーマを力の籠った語り口で滔々と述べられ、現在の日本の問題を炙り出されました。

第3部の日台交流の集いは会場を大隈タワー15階の「西北の風」に移し、名コンビ輿石幹事・丸

山香おりさんの司会でスタート。岩永会長の開会挨拶、羅坤燦・台北駐日経済文化代表処副代表、足立心一・早稲田大学副部長の来賓挨拶に続き、本日の講師・東郷和彦氏のご発声による乾杯で開宴しました。しばし歓談の後、斯吉甫・台北駐日経済文化代表処文化部長、鄭文哲・台湾校友会幹事長、山下政行・行政書士稲門会会長、森邦彦・取手稲門会会長にご挨拶を頂いた後、長老の渡邊光治顧問の東京音頭で盛り上がり、その勢いにかけて一般会員、新入会員、留学生等が続々登場。宴酣の中極め付け、山下会長の応援指導のもと校歌を全員で高唱し、小野間幹事長の閉会挨拶をもって閉会となりました。集合写真の後もお去り難く、歓談が続いて名残惜しい一団、また一団が見受けられるも、来年の再開を期して散会。

参加者(順不同、敬称略)：「来賓」羅坤燦、斯吉甫、足立心一、鄭文哲、山下政行、沖山実(行政書士稲門会副会長)、奥山雅洋(同会幹事)会員29名、校友16名、学生12名、計57名。(広報担当・齋藤記)



◇ 台北稻門会NEWS ◇

311東日本大震災、もう半年経ったんだなあと思
感慨に耽りつつ、日々記憶を遠ざけている自分に気
がつきます。その中、台湾からの義捐金は官民合
せ遂に200億円を超えたそうです。台湾の方々

あの惨状を、忘れてはいません。台北稻門会の皆さ
んからご提供頂いた写真を、紹介します。(台北稻
門会事務局まとめ)



◇ 「NHKのど自慢イン台湾」 ◇

NHKは去る5月、10月2日に台湾で「のど自慢」を開催することを発表しました。開催会場は国父紀念館（2514席）で、10月2日の本選は午後2時45分から5時まで。ゲスト歌手は小林幸子と吉幾三。また放送日は10月下旬の予定だそうです。（NHK総合、ワールドプレミアム）

台湾を訪れたかたはよくご存じのとおり、台湾人は歌が好き。小生は駐台当時日本人学校の傍に住んでいましたが、休みの早朝暑くなる前、愛犬に引きずられ陽明山を散歩した際に、公園から聞こえてくる日本語の歌声にビックリしたものです。龍山寺で

も然り。仕事で地方の取引先にお邪魔したときも、まああがれとご自宅に招待され、ご自慢の高級アンブ・スピーカーを通したカラオケで歌ったこともありますし、尾牙という忘年会に出席すれば、必ず日本語の歌のリクエストがありました（持ち歌は「古城」）。台湾には日本の歌が根づいています。こんな国は、恐らく世界でも台湾だけでしょう。

北村・元台北稲門会会長のご自宅にもカラオケセットがありました（北村元会長は台湾歌謡専門でした）。

さて詳しくは、次のホームページをご覧ください。

■ 「NHKのど自慢イン台湾」 ホームページ

<http://www.nhk.or.jp/nodojiman/taiwan/index.html?lang=ja>

◇ 台湾高鐵（台湾新幹線）の切符を購入する方法 ◇

この秋、台湾を訪問しようと考えている会員・会友もいらっしゃると思います。そこで今回は、日本からインターネットで台湾高鐵（台湾新幹線）の切符を購入する方法をご案内します。

①台湾高鐵ホームページ（中文版）にアクセスする
※日本語版ホームページでは購入できません
<http://www.thsrc.com.tw/tc/?lc=tc>

②トップページの上部バー  にカーソルを移動し、『**網路訂票**』をクリック

③『**網路訂票**』上部バーに『**您所在的訂位步驟**』：
1. **查詢車次**』とあるのを確認し、必要項目を入力します

④『**起訖站**』から「**起程站（出発駅）**」と「**到達站（到着駅）**」を選択

⑤『**車廂種類**』から「**標準車廂（普通車両）**」もしくは「**商務車廂（ビジネス車両）**」を選択

⑥『**訂位方式**』から「**依時間搜尋合適車次（出発時間）**」若しくは「**直接輸入車次號碼（列車番号）**」を選択

○ **依時間搜尋合適車次（出発時間）**を選択すると次の行の『**時間**』に、「**去程（何月何日の）**」、「**約 出發（何時頃の発車ですか）**」、「**訂購回程（往復にしますか）**」と表示されるのでそれぞれ入力

○ **直接輸入車次號碼（列車番号）**を選択すると次の行の「**約 出發**」が「**車次號碼（出列車番号）**」に置き換わるのでそれを選択。

⑦『**票數（切符の枚数）**』は、「**全票（大人）**」「**孩童票（6-11歳）**」「**愛心票（障害者割引）**」「**敬老票（65歳以上シルバー割引）**」が表示されるので該当欄に必要な枚数を入力
次の行の『**查詢早鳥優惠 僅顯示尚有早鳥優惠之車次**』は、特別早朝割引検索のようです。

入力が終わったら画面右下『**開始查詢**』をクリックして次の画面、『**2. 確認訂位**』で予約内容を確認。

確認後、画面右下『**確認車次**』をクリックし次の画面、『**3. 取票資訊**』に『**總票價（金額）**』が表示されますので確認。**護照號碼（パスポート番号）**、**連絡電話番号**、**メールアドレス**、**姓名**を入力し、規定への同意をチェック、**確認用おまじない？**を入力して完了です。28日前から購入でき、24時間受付。

1度に10枚（往復ならそれぞれ5枚）まで予約可能、インターネット経由で支払い、現地の駅かコンビニで受け取れます（手数料10元）。

それでは、台湾新幹線の旅をお楽しみください。情報提供は、幹事の陳恵珍さんでした。

第3回早慶ゴルフ対抗戦結果報告

—早稲田完敗 (対戦成績 早稲田2勝1敗)

台湾に於ける早慶ゴルフ対抗戦にあやかり日本でも昨年の春から早稲田(日台稲門会)対慶応(三台会)の早慶ゴルフ対抗戦が行われています。毎年春と秋の2回行われ今回は3回目でした。

3/11の東日本大震災により対抗戦の自粛も検討されましたが、早慶戦の灯りは消すべきでないとの声が強く、当初の予定通り5月16日、早稲田7名、慶応8名の参加者を得て、何とか開催にこぎ着けることができました。

結果は下記のとおり、団体戦(両校の上位5名のグロス合計)では初めて早稲田の敗北となり、個人賞(ベストグロ、ニアピン、ドラコン等)についても早稲田側のメンバーが獲ることはできませんでした。

今回は残念な結果ではありましたが、次回(10月17日予定)では多くの会員の参加で盛り上げて是非とも雪辱を期したいと思っております。

終了後の懇親会はノーサイドとなり、日中のグリーン上の戦い以上に盛り上がりました。

敗戦したチームが次回の幹事校になる取り決めも台湾スタイルです。(幹事 神田記)

記

期 日 : 2011年5月16日(月)

会 場 : 習志野カントリークラブ(千葉県)

団体戦の成績: 「早稲田」(稲門会) 「慶応」(三台会)

	氏名	グロス	氏名	グロス
1位	岩永(44年)	91	瀧瀬(53年)	84
2位	高橋(48年)	92	関(43年)	91
3位	神田(45年)	96	関根(53年)	95
4位	中島(H3年)	104	和田(49年)	100
5位	輿石(44年)	106	飯沼(39年)	101
	合計ストローク	489	合計ストローク	471
	平均ストローク	97.8	平均ストローク	94.2



◇ 新会員・会友紹介 ◇

新 会 員

山崎 総 (やまざき さとし) さん (本年度3人目の入会)

昭和60年(1985年)第一文学部ドイツ文学科卒業 ☆入会の動機:台湾に興味、渡邊義典幹事からの紹介

三村 達 (みむら とおる) さん (本年度4人目の入会)

昭和50年(1975年)法学部卒業 ☆入会の動機:台湾に仕事で駐在していた

山田 周平 (やまだ しゅうへい) さん (本年度5人目の入会)

平成3年(1991年)政治経済学部政治学科卒業 ☆入会の動機:台湾に仕事で駐在していた、岩永会長からの紹介

◇ 会 合 予 告 ◇

秋季講演会・懇親会のご案内

平成23年秋季講演会を下記の要領にて開催したく、ご案内申し上げます。

今回は、「台湾人生」でご高名な酒井充子監督に「台湾とわたし」と題してご講演をお願いしております。

酒井監督は主にドキュメンタリー映画畑を歩まれ、地道な取材を積み重ねた作品が持ち味の映像作家です。「台湾人生」の制作過程でも台湾を長期にわたって取材され、作品に余すことなく表現されており、講演でも興味深いお話が伺えると存じます。

つきましては、多くの会員に挙ってご参加いただき「台湾」を共有するひと時を過ごしたく、心からお待ち申し上げます。

参加ご希望の会員・会友は送付済みの回答ハガキで、会員ご照会の一般の方及び台湾からの留学生は、氏名、郵便番号、住所に「秋季講演会・懇親会参加希望」と明記の上、下記日台稲門会幹事渡邊のメール宛てにご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、準備の都合上、9月23日(金)までにご連絡をお願いします。

記

日時・場所:平成23年10月8日(土) 早稲田大学・早稲田キャンパス

講演会 16:00 ~ 22号館8階会議室

懇親会 17:30 ~ 大隈会館「楠亭」

講 師:酒井充子氏

演 題:「台湾とわたし」

会 費:会員・会友 5,000円、一般 5,000円 学生:無料

連絡先:幹事・渡邊義典 E-Mail:watanabe.yoshinori@mbr.nifty.com

———酒井充子氏 プロフィール———

1969年10月山口県生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業、会社勤務を経て1996年、北海道新聞社入社。1998年夏、初めて台湾へ。

2000年からドキュメンタリー映画、劇映画の制作、宣伝に関わる一方で台湾取材を開始する。

2001年から重症心身障害者施設の生活を3年にわたって追ったドキュメンタリー映画「わたしの季節」(小林茂監督、2004年毎日映画コンクール記録文化映画賞)

2005年度文化庁映画賞文化記録映画大賞)に取材スタッフとして参加。このときのスタッフが再集結し、初監督作品「台湾人生」を完成させた。

2009年、映画公開。2010年、同名書籍出版。

第4回日台早慶ゴルフ対抗戦のご案内

以下の通り、第四回日台早慶ゴルフ対抗戦を開催致します。
回を重ねる毎に参加者も増えており、皆さん奮ってご参加ください。
今回は前回参加者の中で要望の強かった習志野CCキングコースを予約致しました。

- 開催日：10月17日（月）
- 会場：習志野カントリークラブキング・クイーンコース
千葉県印西市大森7 Tel：0476-46-3111
- 交通：北総開発鉄道 千葉ニュータウン中央駅下車
クラブバス 又はタクシー8分（約1,200円）
クラブバス時刻（駅前発） 8:00 8:25
- 集合：8:40 練習グリーン横の広場 = 橋を渡った所
- スタート：キングコース アウト・イン 9:10開始
（念の為それぞれ4組 計8組予約済み）
- 会費：①プレー料 約12,000円（キャディ無し、昼食含む）
キャディ付きは15,000円（どちらにするか追って決定）
②参加費 5,000円（賞品代/懇親会費）
- 参加資格：・日台稲門会会員 ・会友 に限定。一般の方の参加は不可。
・参加ご希望の方は、9月15日迄に岩永宛、下記何れかの方法で申し込み下さい。
尚、10月10日迄キャンセル可能です。
・E-mail：yaiwanaga@y7.dion.ne.jp 電話：090-5819-0700
・組み合わせは当日発表します。
- 競技方法及び各賞：
 - ①団体戦：両校上位者数名のグロス合計（参加人数により決定）
 - ②個人戦：バスグロ、ニアピン、ドラコン（検討中）
スルーザグリーン6インチプレス可。OKボールなし。

以上

<ご参考>

- プレー終了後、恒例の表彰式兼懇親会を駅近くのレストラン“千年の宴”で行います。酒宴となりますので、マイカーでのご来場は避けて下さい。
- 今回の幹事は日台稲門会が行います。過去の戦績は稲門会の二勝一敗。団体戦で敗者校が次回の幹事校となります。

早稲田大学台湾校友会総会のご案内

ご夫婦、ご家族連れでの参加大歓迎。
台湾新幹線は65歳以上半額、7 ELEVEN（台湾）でも受け取れます。⇒ 3ページ参照

日時：平成23年11月26日（土）
会場：台北）国賓大飯店12階「楼外楼」

※定期総会翌日11月27日（日）は、ゴルフ及び観光の娯楽活動です。
ゴルフは恒例通り、老淡水ゴルフ場、
観光は宜蘭の伝統芸術センター（検討中） http://www.ncfta.gov.tw/ncfta_ce/c02/c02020101.aspx

※前日の11月25日（金）には、台北稲門会主催の前夜祭が予定されております

総統・副総統選候補 与野党出そろう

台湾最大野党・民主進歩党の蔡英文主席（55）は9月9日、年明けに予定されている総統・副総統選の副総統候補として、同党秘書長（党幹事長に相当）の蘇嘉全氏（54）を指名した、と発表した。与党・中国国民党主席の馬英九総統（61）が6月に行政院長（首相）の呉敦義氏（63）を副総統候補に指名していることから、これで与野党の総統・

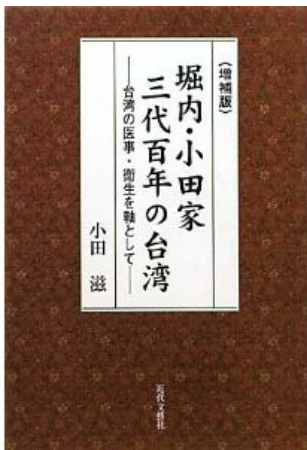
副総統候補が出揃い、来年1月の第13代総統・副総統選挙に向け、それぞれ政権維持あるいは奪還を目指すこととなる。

また同日行われる第8回立法委員選挙（定数113人の一院制）にも注目、現在約7割を占める中国国民党がこれを維持するのか、民主進歩党が過半数に迫るのか——。投開票は1月14日。（齋藤記）

§ 台湾関連書籍紹介 §

「堀内・小田家三代百年の台湾—台湾の医事・衛生を軸として—」〈増補版〉

小田 滋・著 日本図書刊行会



本書は、帯にあるように「台湾の歴史の一側面。医学教育に生涯を捧げた祖父、大学医学部創設に尽力した父、そして青春の地として台湾のその後を見守り続ける著者、三代の軌跡を通して見る台湾」について綴られています。三代目（著者）の体験的台湾

論が注目です。

（著者の）小田滋氏は国際司法裁判所（ハーグ）判事を長年にわたって務めた法学者ですが札幌に生まれ、幼少時に北海道帝大医学部勤務の父・小田俊郎のドイツ留学をきっかけに母方の祖父、台北医学専門学校長・堀内次雄の許に預けられます。

祖父・堀内次雄は仙台の第二高等中学校医学部（東北大学医学部の前身）を卒業後、軍医として日清戦争により割譲された台湾平定に参加、その後、民政長官・後藤新平の造った総督府医学校（台北医学専門学校）の三代目校長、総督府中央研究所衛生部長等を経て、昭和22年に台湾を離れるまでの50年間を台湾の医事・衛生に捧げます。

父・小田俊郎は東京帝大医学部を卒業後、付属の伝染病研究所、北海道帝大医学部勤務を経て、祖父の住む台湾で、台北帝大医学部新設に尽くします

本書は祖父、父の、それぞれ「台湾を愛し、台湾人を尊敬した」記録でもあります。

一方著者は、一旦は札幌に戻るものの（台北帝大医学部創設の任務を帯びた）父に従って台湾に渡り、台北第一師範付属小学校、台北高等学校尋常科、高等科文科と進みますが、終戦前本土へ帰り東京帝大法学部へで国際法を専攻します。この台湾での体験が戦後、ある時期から発展して行きます。本書第一章から第四章までは戦前・戦中・戦後を通じての堀内家・小田家のエピソードが進んでゆくのですが、第五章以降は筆者の交遊関係と、それを通じて垣間見る台湾人の戦後史です。

堀内次雄、小田俊郎の二人は、台湾医学の教育者として台湾人学生を育て、台湾のみならず本土を含めアジア各地に台湾人医者を輩出させます。また、李登輝、辜振甫、楊基銓、吳建堂などの多士済々が著者の台北高等学校の同窓です。著者は戦後、祖父・父の教え子や同窓と、戦後改めて交遊を復活させます。ここでは実に数奇な出会いが重なります。

「増補」部分の、「第二部 堀内家・小田家三代百年の台湾—「台湾人の台湾」のために—」の「第一編 主権独立国家の「台湾」—「台湾」の国際法上の地位—（私の体験的・自伝的台湾論）」は秀逸で、現在も最も優れた日本人による台湾論でしょう。※日本學士院紀要のHPに全文掲載されています（CiNii (61 巻以降を公開 ⇒ 62 (1) ⇒ 主権独立国家の「台湾」：「台湾」の国際法上の地位：（私の体験的・自伝的台湾論）

楊基銓・著「台湾に生を享けて」や、王徳育・著「昭和」を生きた台湾青年 日本に亡命した台湾独立運動者の回想1924～1949」を併せてご覧になれば、往時の台湾が偲ばれます。（齋藤記）

◇ 台湾関連ニュース 続 ◇

謝謝！台湾 震災復興支援への感謝泳断

東日本大震災の被災に対し200億円を超える義援金を贈ってくれた台湾に感謝するため、日本の水泳選手ら男性6人が9月17日朝、日本最西端の沖縄県・与那国島から泳いで台湾北東部の蘇澳に向った。東北3県の知事の感謝のメッセージも携えた。黒潮を越え、目的地までの約110キロを約45時間かけ、リレーで泳断する。この海域を泳いで渡るのは前人未到、台風15号の影響で海上が荒れる可能性もあるものの、19日午前ゴールインする予定。

チャレンジするのは、発案者でライフセービング日本選手権で優勝経験のある鈴木一也さん(31)や、被災地・福島県相馬市出身で中央大学水泳部に在籍する山田浩平さん(21)ら6人。

出発を前に、参加者は「泳ぐことで両国の友情を次の世代に引き継ぐことが使命だと思っている」(鈴木さん)、「被災地の子供たちに勇気と希望を与えるために泳ぎたい(山田さん)」と力強く語った。(新聞報道より編集・齋藤)

◇ 平成狂歌「秋の巻」 ◇

平成の蜀山人、関口恒雄会員の狂歌、第3弾です。

昨日までカメラも向けぬマスコミが
寄ってたかってあたままでしこ
「コロコロ」と総理替わって六人目
「ドジョウ」出てきて「やあコレニチハ」
鯖鱚空に上がって雲になり
秋刀魚は目黒で落ちて食われる
かさかさのおつむの脇に置く髪の
白きを見れば余ぞ老けにける
夜目遠目ビレロウ西施の艶姿
近くに寄ればただの欧巴桑

*西施=シースルー衣装の売り子 *欧巴桑=おばさん

■ 編集後記 ■ 311東日本大震災被災に対する台湾官民からの200億円を超える義捐金に感謝する日本人に、台湾と中国はやはり全く別の国、という事実が広く認識されました。ただ、マスコミの多くはこれを黙殺し、また、台湾の親日家を右翼とイメージさせる論評も掲載するなど、(台湾を除いた)世界中で嫌われている日本人悪玉論、か幅を利かせているのもまた事実。これは一種の報道統制と言えます。さすがになでしこJAPANのWCでの映像で、日章旗・君が代の画面を差し替える技は使えず(主催者の配信)、米国との決勝、延長、優勝の表彰まで日の丸をたっぷりと見ることができました。海外生活経験者にはよく理解できると思いますが、海外で日の丸を仰ぐ時には、ある種の感慨を覚えるものです。さて、楊永明・台湾行政院新聞局長がNYで先日、「馬英九(国民党)政権は『対日特別パートナーシップ』路線を重視している」と報道に述べられたそうです。また、「(台湾からの)支援額は『世界一』で、1999年の台湾中部大地震で日本がいち早く支援をしたことに対する『お返し』の意味もある」とのこと。政府首脳がここまで踏み込んだ発言をする国はあまりなく、米軍の「トモダチ作戦」にも匹敵すると思います。「市民活動家」政権・政府に代わって、「謝謝!」「Thank You!」を熱く伝えましょう。(編集子 齋藤)